

H30年 日本RC模型グライダー協会 (JRGA) 理事会 議事録

日時：平成30年2月4日(日) 13:00～16:15

場所：東京都中央区京橋 八丁堀区民館

参加者：橋本会長（大阪）、櫻井理事長（愛知）、浅野（大阪）、濱田（群馬）、藤田（岩手）、
宮川、山田(埼玉)、関根、加納（東京）、児山、市村（神奈川）、森尾（奈良）、
柳本、星島（兵庫）、篠原（香川） 計15名

議事

1. 会長挨拶：橋本会長

グライダーに限らず空物に対する環境が厳しくなっている。関西ではKMAが今年の事故により、現在も正規の利用ができていない状態が続いている。

各理事においては所属するクラブや地域での競技会を通して安全指導をお願いしたい。

特に、LiPoの取り扱いや安全管理について正しい知識を浸透させて欲しい。

2. 理事会開会宣言：櫻井理事長

理事総数18名中、出席15名、委任状提出1名。

過半数の理事承認により理事会が成立していることを宣言。

3. 書記の選任：櫻井理事長が篠原理事を指名し承認された。

4. 決算報告：濱田理事、星島監事

濱田理事より会計条項、星島理事より監査結果が報告され、承認された。

会計内容について市村理事、山田理事から質問があり、濱田理事が以下の説明を行った。

(1) 今回、支出でメダル代が高いのは、数年に一度のメダル本体の作成を行った為。

通年はメダルのプレートのみを作成。今回の内訳は、金(2,500円/個)×70個、
銀(2,400円/個)×60個、銅(2,200円/個)×60個。

(2) 収入の部のメダル代は各クラブの競技会で利用したメダル+賞状の代金(3,000円/個)。

5. 報告・審議事項：各理事

(1) 会員登録状況報告：篠原理事

2018年2月1日時点の有効会員数は145名。昨年は7名の新規入会者があったが、
2016年度会費から未納の会員29名を休会扱いとした為、トータル22名の減。

会員の増加を図るために何かできないかという観点で議論を行い、

・勧誘用のパンフレット、又はJRGAのHPに入会したいと思えるようなページを作る。

・「JRGAに問い合わせれば要望を考慮して、地域のキーパーソンやクラブを紹介する」
という活動を始めてみる。

・各理事は地元競技会に参加してくれる人やクラブメンバを勧誘する努力も必要では。

・入門に適した機体を用意し、見学者に体験してもらう機会を作る。

等の意見が出された。

理事会の今年度活動として、JRGAホームページの中にグライダーの楽しさを伝えるページの作成を検討することとなった。検討メンバーとして、山田理事、森尾理事、浅野理事の3名が選出された。

(2) 競技会スケジュール調整：宮川理事

2018年日本選手権およびJMA 競技会日程を確定とし、各地の競技会実施日程の調整を行った。結果、F3J 日本選手権と重なる東北スロープ大会の日程を変更。九州地区の大会は別途、宮川理事から後藤理事に確認することとなった。

(3) 各理事からの報告事項

宮川理事：上里カップでのセルフジャッジによるタスク B 実施結果について。

藤田理事：天峰山スロープエリアの紹介。

関根理事：大野山スロープエリアのオープンと、農地を借用している場合の課題につて。

柳本理事：豊岡市グラウンド利用に向けた状況。

市村理事：相模川流域における模型利用の状況。クラブとしての損害賠償保険加入について。

浅野理事：粉河グライダークラブの紹介。

(4) JMA 理事会報告：児山理事

F5B、F5D の世界選手権（7月に滝川で開催）に向けての準備状況説明。

ジャッジ確保、海外選手の無線機に対する国内電波法の対応、等。

模型人口のすそ野拡大を目的とした競技会の補助金支給制度（50,000円/大会）実施の決定。年間1団体につき3大会まで、JMA 公認競技会として申請することで認可される。2018年度 JRGA として、6月の茨城 F3K 納豆大会（確定）、9月の西日本 F3B 大会、他1大会を申請予定。

スペースモデル協会からの報告として以下の紹介

- ・今までに講習会として延べ1万人の参加があったが継続する人が少ない。
- ・ロッキードマーチンから女性参加に対する700万円の補助金。
- ・スペースモデル協会から東大への推薦入学者が1名（学校、企業、等以外からの推薦初）。

(5) 入門者、ビジターに対する航空法対応について：森尾理事

入門者やビジターがクラブを訪れる際に航空法に従った申請を個人またクラブで都度実施することはハードルが高い。そこで、クラブで受入れする為の申請書類のひな型を JRGA で作成できないかという提案に対し議論が行われた。

決議として、申請書のひな型作成を JRGA として扱うことは否決された。

但し、児山理事から JMA に対して一つの意見として報告して頂く。

(6) 滑空記章の普及に関して：浅野理事

昨年の理事会で話題となった滑空記章 A、B、C のバッジを各100個作成。これを利用する方法について意見交換がされた。結論として取得ルールを現在の状況に合ったものに変更し（現申請書は約30年前のもの）、授与する機会を増やす方向で意見集約された。取得ルールの変更検討は、宮川理事、浅野理事により行い、理事会メンバーに照会し後日決議する。

(7) その他：

- ・宮川理事から、F3B 世界選手権参加の感想と話題。
- ・浅野理事から、会報への記事作成依頼。

6. 次年度理事会開催予定

別途連絡（平成31年2月3日（日）大阪開催の予定 後日事務局記載）

以上